

鹿児島第3地方合同庁舎整備事業

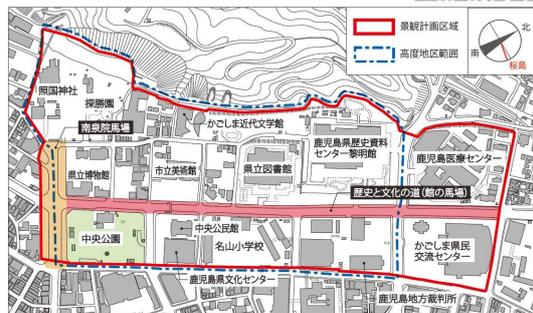


歴史と文化の道地区の景観を守る ～鹿児島県、鹿児島市、国が連携～

鹿児島を代表する歴史と文化の道地区

- ✓ 本敷地は鹿児島(鶴丸)城跡の東に位置し、多くの史跡や文化施設、官庁施設が集積しており、鹿児島の歴史・文化・観光を代表する「歴史と文化の道地区」内にあります。
- ✓ 歴史と文化の道は、電線類が地中化され、歩道の石張り、親水水路、イヌマキの植栽、ガス灯の整備がされ、潤いと安らぎのある街路空間が創出されています。
- ✓ さらに、この地区一帯の景観風致を一体的に維持・保全し、後世に継承するために、高さ20mの高度地区が設定されており、建物の高さがそろった良好な景観が形成されています。

鹿児島第3地方合同庁舎整備概要はこちら



地域との連携

鹿児島県、鹿児島市、国で連携し、景観形成に配慮し、観光振興やまちづくりに貢献するよう施設整備の内容を検討。

- ① 街並みとの親和性を高め、親しみやすい開放感を演出する「エントランスモール」を整備
- ② 桜島の降灰や強い日差しに配慮し、縦ラインを強調した柱やルーバーを連続的に設けることで、彫深く官庁施設として風格ある外観を形成
- ③ 工事期間中の仮設物(仮囲い等)も景観に配慮
- ④ 鹿児島合同庁舎の既存ポケットパークを、御楼門、御角櫓等の写真撮影や展望などもできるスペースとして改修
- ⑤ 北側来客用駐車場の一部について、閉庁日(休日)に、観光バスの乗り降りスペース、観光客等の駐車場として利用できるように調整



市民の意見を反映したポケットパークの整備